

支部長就任ご挨拶



支部長 梶谷 知代

処暑の候、支部会員諸先生方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、支部運営に格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。この度の役員改選選挙の結果当選し、支部長を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄と感謝いたしますとともに、大役に身の引き締まる思いでございます。会員先生方に温かいご支援をいただきましたこと心より御礼申し上げます。名誉あるお役を引き受けました以上、浅学菲才の身を削り、精一杯頑張る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、平成5年に税理士登録し、それ以来左京支部でお世話になっております。登録したての頃は、右も左もわからず不安な日々でした。そんな中、支部に所属している以上、行事に参加して、少しでも先生方とお近づきになりたいと思い、研修会、懇親会、ボウリング大会、ソフトボール大会などに積極的に参加しました。左京支部の先生方はどなたも優しく、頼りなげな私に親切に接してくださいました。懇親会が終わりましたら、必ず役員の先生方に「次行こかー」と誘っていただき、喜んでついて行っておりました。いつも奢ってもらいっぱなしでした。申し訳ないので払おうとすると「それは、また次の世代にしてあげて」と言われておりました。このように、後輩にやさしい先輩諸先生方が大切に守ってこられた対話と協調の精神をベースに、左京支部のために、会員諸先生方のために、何が必要なのかをよく考え支部運営を行っていきたくと思います。

辰巳修偉先生が支部長の時に、広報委員長をさせていただき、会員に少しでも早く情報をお届けする

ため「大文字かわら版」の発行を始めました。その後、委員長を産休、育休という形で河村澄子先生に代わっていただき、誠に申し訳なかったと思っております。少し時は経過し、総務委員長、総務担当副支部長をさせていただき支部運営に関わってまいりました。この度、その河村先生をはじめ、経験豊富な頼もしい副支部長4名に支えていただき、9名の委員長、委員の皆様と共に第41回定期総会でご承認いただきました事業計画案に基づき一致団結して支部運営に邁進していきたいと思っております。新しく執行部に入っていたいただいた方もおられますので新しい風も入れていただけることでしょうか。

昨年来、世界的に未曾有の有事に見舞われております。我々のクライアントも未曾有の状況下で生き延びられるかと必死の状況です。私たちは、その痛みと苦しみを一番理解できる立場にあり、寄り添いながらこの苦境を乗り越えなければなりません。また10月からは2023年10月導入の消費税インボイス制度の登録が始まります。これに対してもクライアントへの丁寧な説明が求められます。また、税理士会にもICTの波が押し寄せ、支部規約もICTを取り入れるための改正が行われました。このように税を取り巻く環境は刻々と変化しております。私たちは研鑽を重ね、税制面での情報をいち早く届けなければなりません。

また、専門業務であるが故の社会的責務を果たすために会員諸先生方には引き続きご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、村中研治前支部長をはじめ退任されました役員の先生方に厚く御礼を申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。